

【趣旨】

保険者（市）が、在宅生活を送る要介護認定者の「在宅生活の継続」や「介護者の就労継続」に有効な介護サービスの在り方を検討するための調査

【調査対象】

在宅で生活をしている要支援・要介護認定を受けている方のうち、更新申請・区分変更申請に伴う認定調査を受ける方 600名

【調査方法】

認定調査員が訪問して認定調査時に聞き取りで実施する

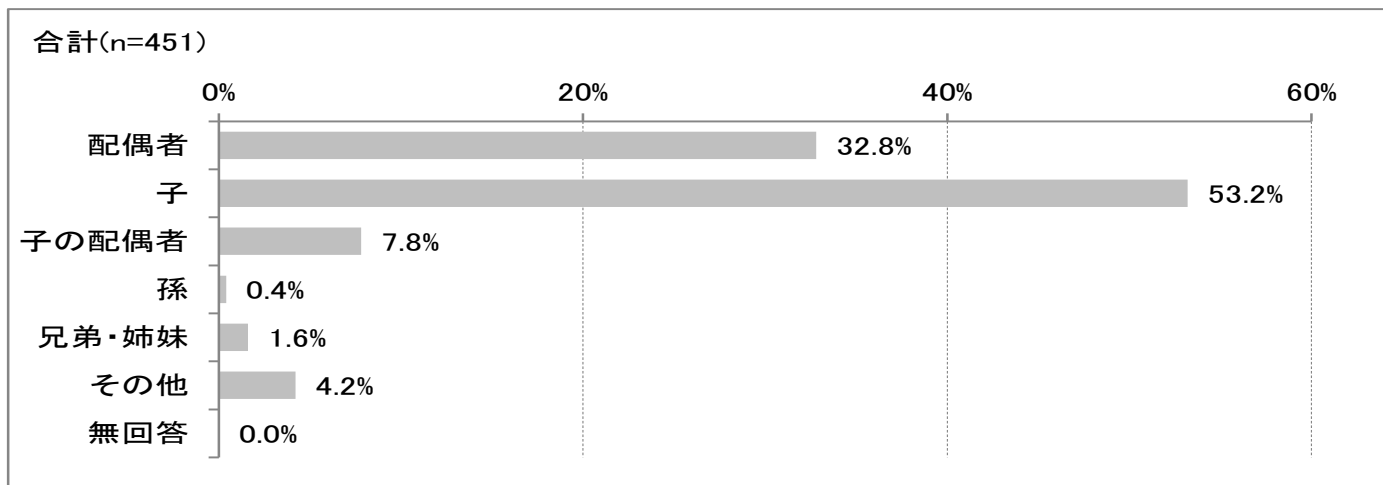
【実施時期】

令和7年10月1日から令和8年4月3日までで500名が集まり、集計している

(1) 主な介護者の本人との関係

「子」の割合が最も高く53.2%となっている。次いで、「配偶者(32.8%)」、「子の配偶者(7.8%)」となっている。

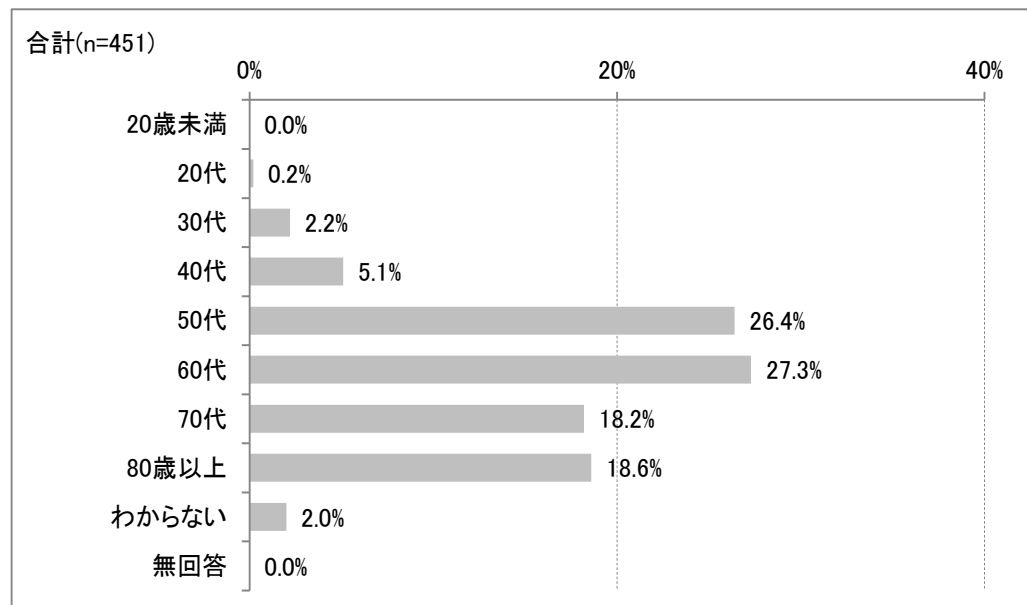
図表1 主な介護者の本人との関係(単数回答)



(2) 主な介護者の年齢

「60代」の割合が最も高く27.3%となっている。次いで、「50代(26.4%)」、「80歳以上(18.6%)」となっている。

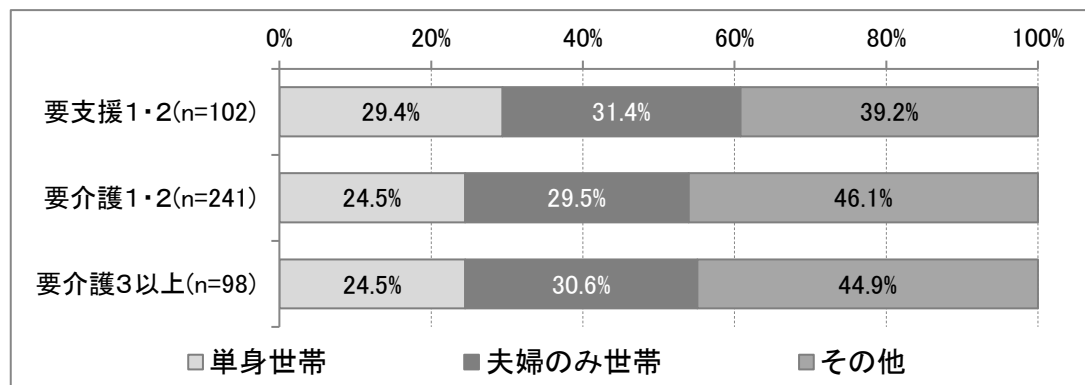
図表2 主な介護者の年齢(単数回答)



(3) 要介護度別・世帯類型

世帯類型について、「要支援1・2」では「その他」が39.2%ともっとも割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が31.4%、「単身世帯」が29.4%となっている。「要介護1・2」では「その他」が46.1%と最も割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が29.5%、「単身世帯」が24.5%となっている。「要介護3以上」では「その他」が44.9%と最も割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が30.6%、「単身世帯」が24.5%となっている。

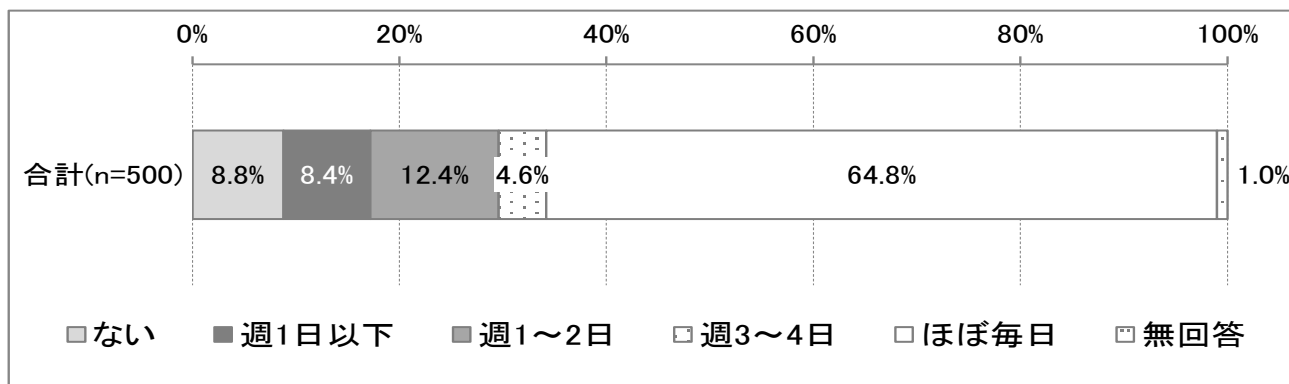
図表3 要介護度別・世帯類型



(4) 家族等による介護の頻度

「ほぼ毎日」の割合が最も高く64.8%となっている。次いで、「週1～2日(12.4%)」、「ない(8.8%)」となっている。

図表4 家族等による介護の頻度(単数回答)



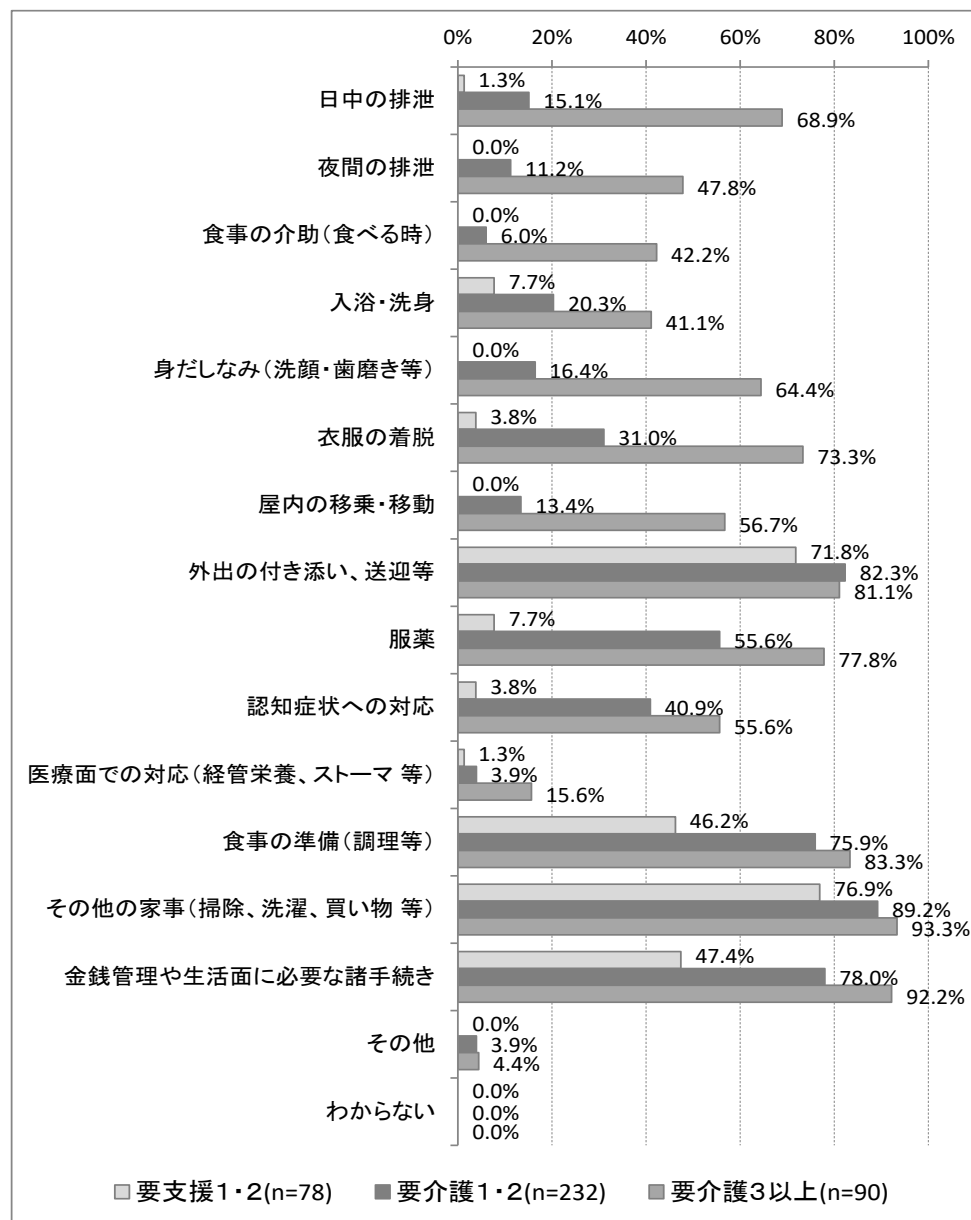
(5) 要介護度別・主な介護者が行っている介護

介護者が行っている介護について、「要支援1・2」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が76.9%ともっとも割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が71.8%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が47.4%となっている。

「要介護1・2」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が89.2%ともっとも割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が82.3%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が78.0%となっている。

「要介護3以上」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が93.3%ともっとも割合が高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が92.2%、「食事の準備（調理等）」が83.3%となっている。

図表5 要介護度別・主な介護者が行っている介護



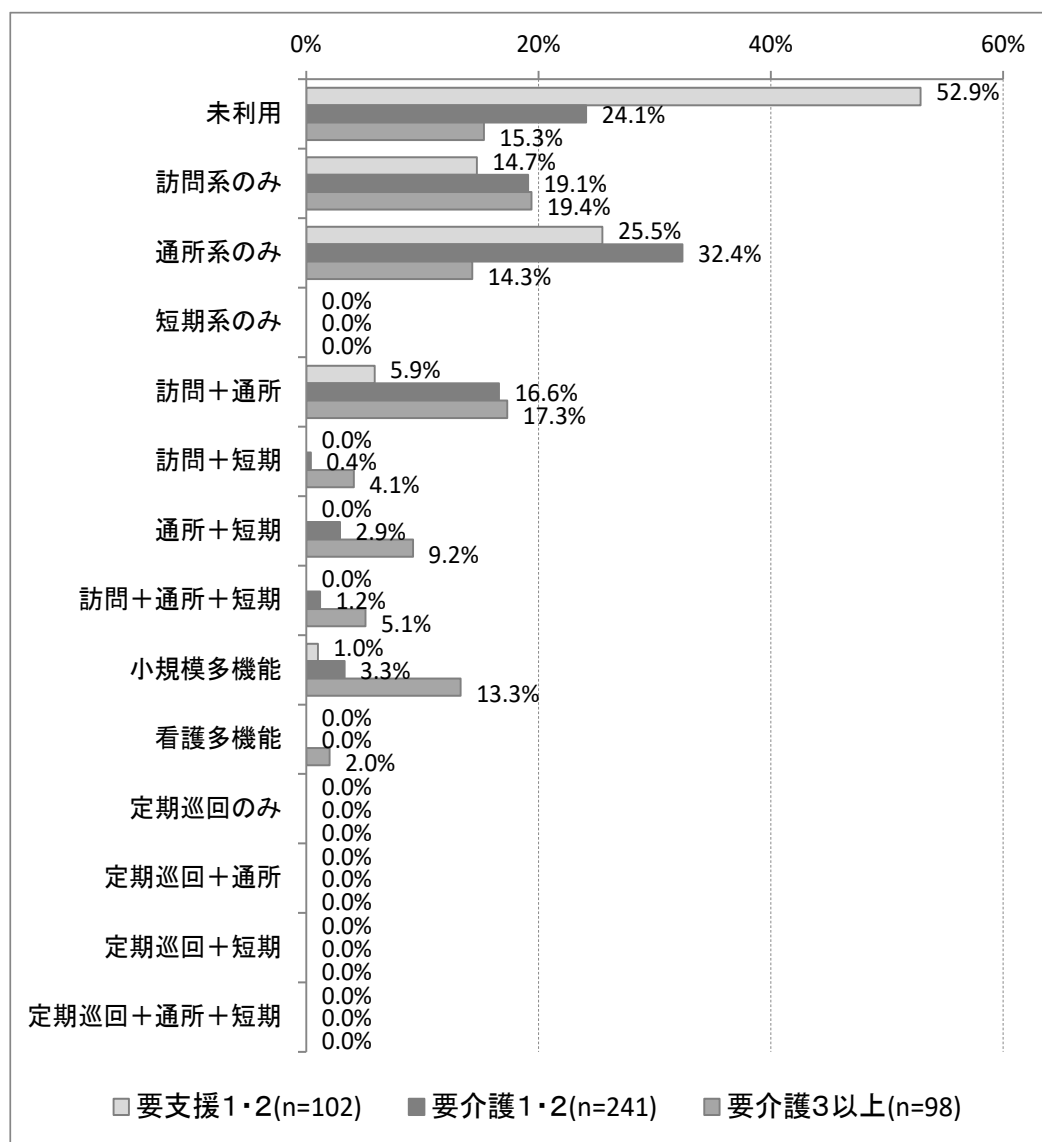
(6) 要介護度別・サービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせについて、「要支援1・2」では「未利用」が52.9%と最も割合が高く、次いで「通所系のみ」が25.5%、「訪問系のみ」が14.7%となっている。

「要介護1・2」では「通所系のみ」が32.4%と最も割合が高く、次いで「未利用」が24.1%、「訪問系のみ」が19.1%となっている。

「要介護3以上」では「訪問系のみ」が19.4%と最も割合が高く、次いで「訪問+通所」が17.3%、「未利用」が15.3%となっている。

図表6 要介護度別・サービス利用の組み合わせ



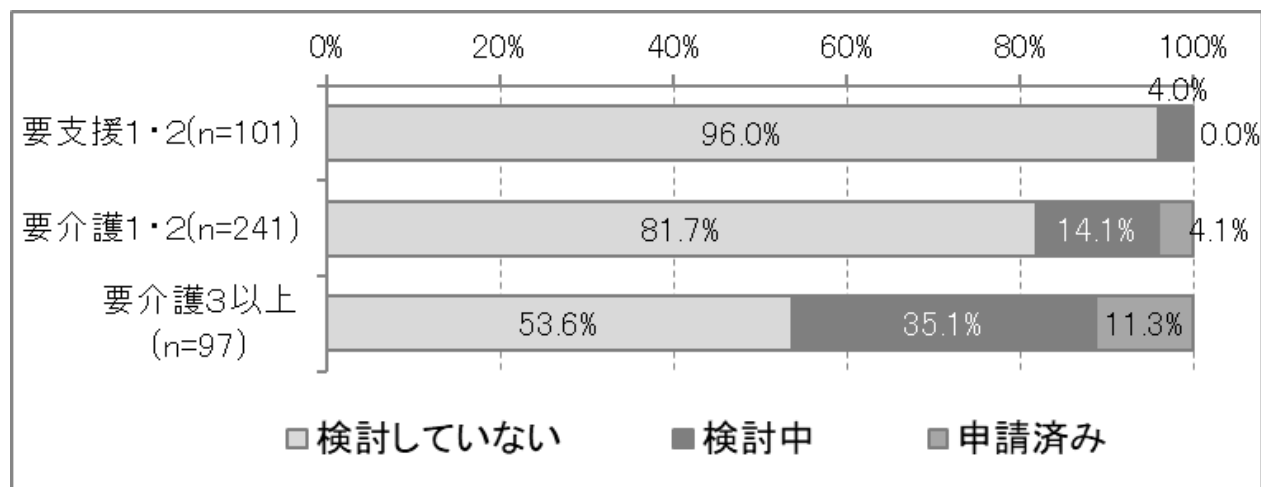
(7) 要介護度別・施設等検討の状況

施設等の検討状況について、「要支援1・2」では「検討していない」が96.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が4.0%、「申請済み」が0.0%となっている。

「要介護1・2」では「検討していない」が81.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が14.1%、「申請済み」が4.1%となっている。

「要介護3以上」では「検討していない」が53.6%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が35.1%、「申請済み」が11.3%となっている。

図表7 要介護度別・施設等検討の状況



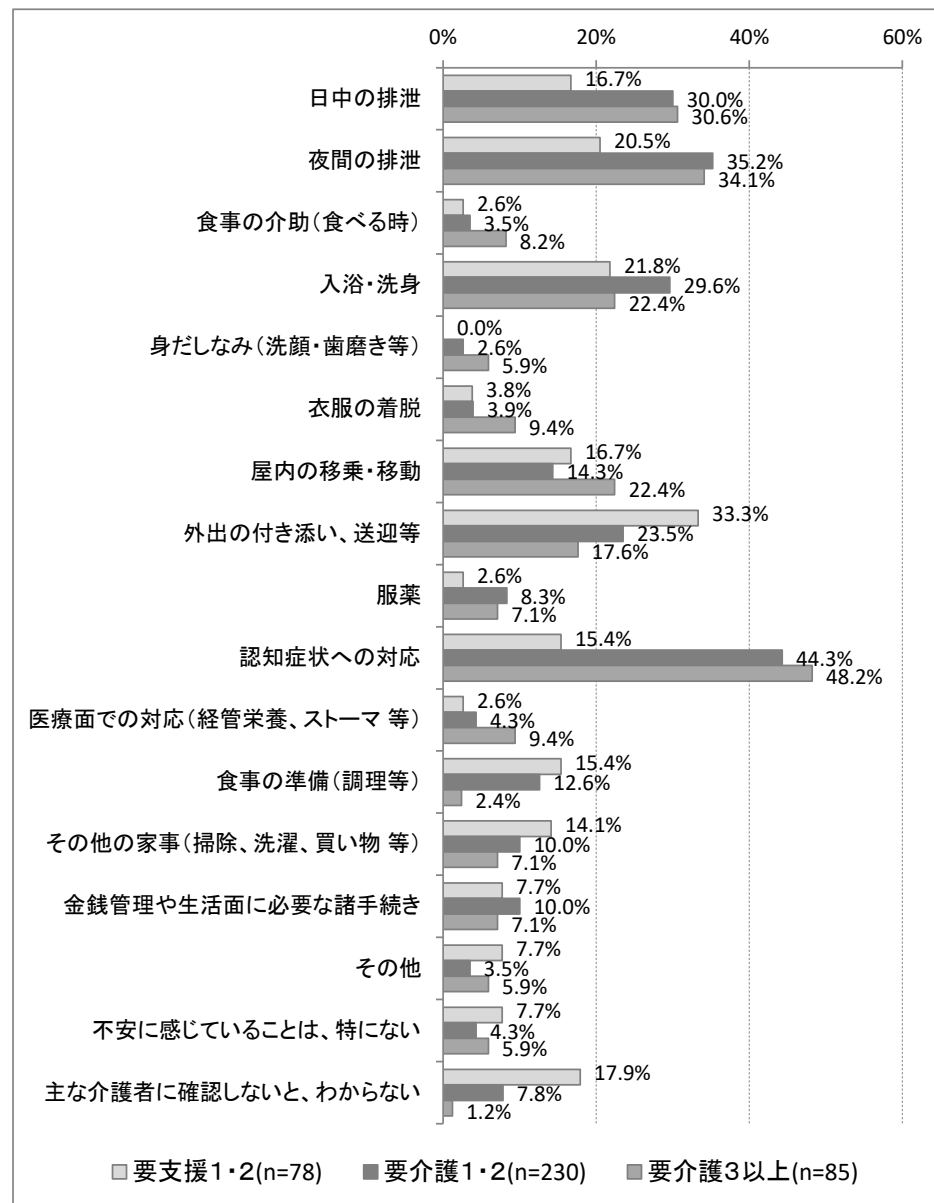
(8) 要介護度別・介護者が不安に感じる介護

介護者が不安に感じる介護について、「要支援1・2」では「外出の付き添い、送迎等」が33.3%ともっとも割合が高く、次いで「入浴・洗身」が21.8%、「夜間の排泄」が20.5%となっている。

「要介護1・2」では「認知症状への対応」が44.3%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が35.2%、「日中の排泄」が30.0%となっている。

「要介護3以上」では「認知症状への対応」が48.2%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が34.1%、「日中の排泄」が30.6%となっている。

図表8 要介護度別・介護者が不安に感じる介護

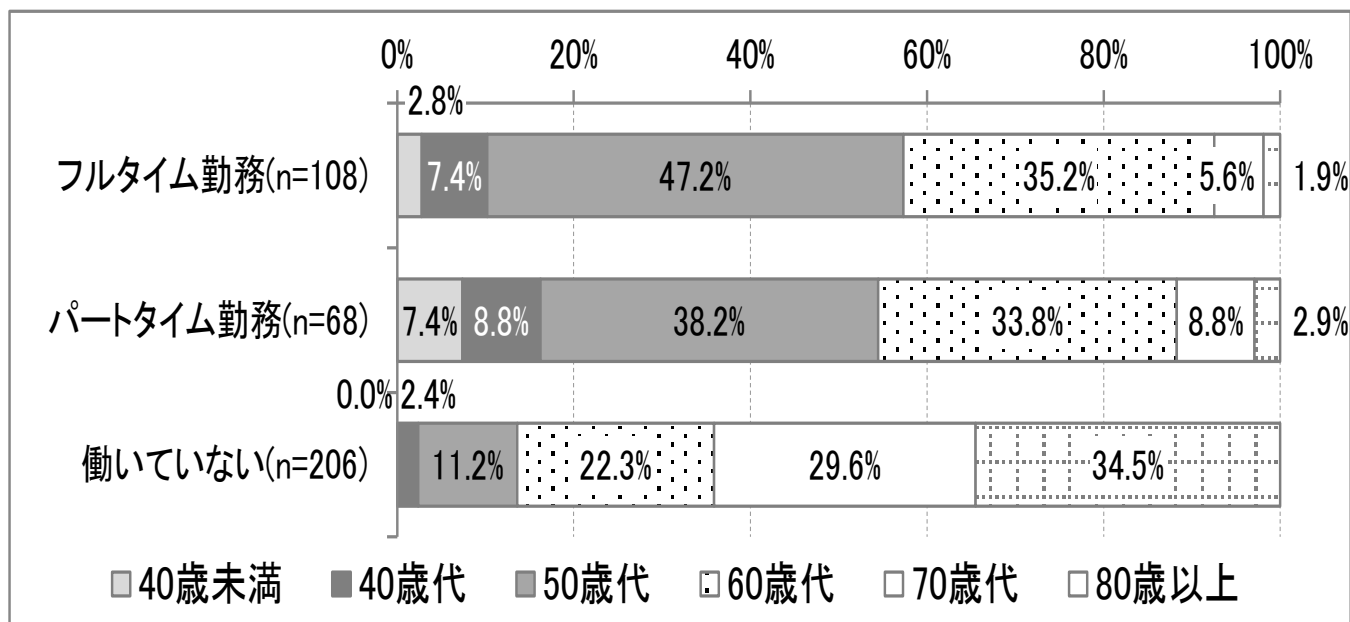


(9) 就労状況別・主な介護者の年齢

介護者の年齢を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「50歳代」が47.2%ともっとも割合が高く、次いで「60歳代」が35.2%、「40歳代」が7.4%となっている。

「パートタイム勤務」では「50歳代」が38.2%ともっとも割合が高く、次いで「60歳代」が33.8%、「40歳代」が8.8%となっている。「働いていない」では「80歳以上」が34.5%ともっとも割合が高く、次いで「70歳代」が29.6%、「60歳代」が22.3%となっている。

図表9 就労状況別・主な介護者の年齢

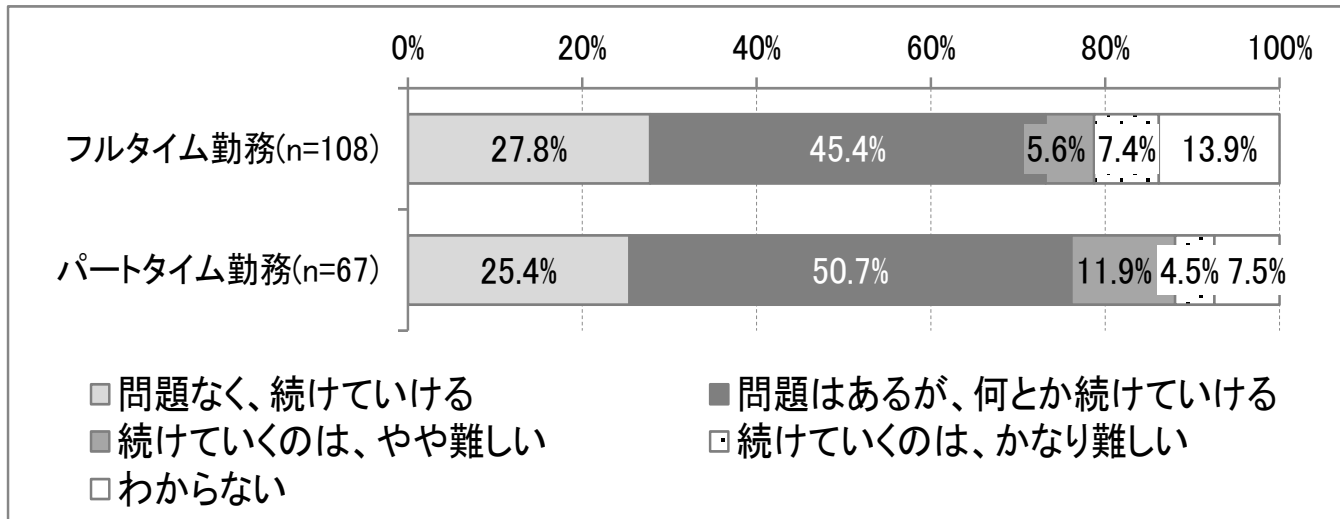


(10) 就労状況別・就労継続見込み

介護者の就労継続の可否に係る意識を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「問題はあるが、何とか続けていける」が45.4%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が27.8%、「わからない」が13.9%となっている。

「パートタイム勤務」では「問題はあるが、何とか続けていける」が50.7%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が25.4%、「続けていくのは、やや難しい」が11.9%となっている。

図表10 就労状況別・就労継続見込み

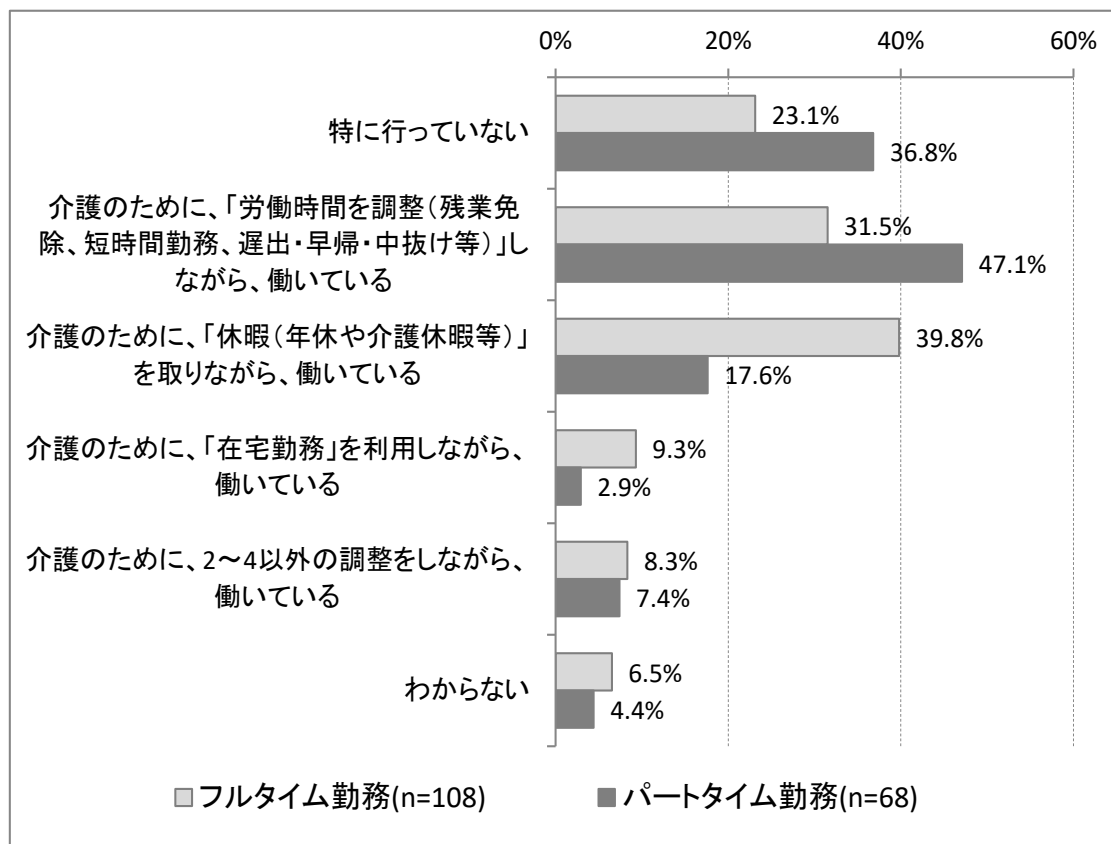


(11) 就労状況別・介護のための働き方の調整

介護者の働き方の調整の状況を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が39.8%と最も割合が高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が31.5%、「特に行っていない」が23.1%となっている。

「パートタイム勤務」では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が47.1%と最も割合が高く、次いで「特に行っていない」が36.8%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が17.6%となっている。

図表11 就労状況別・介護のための働き方の調整



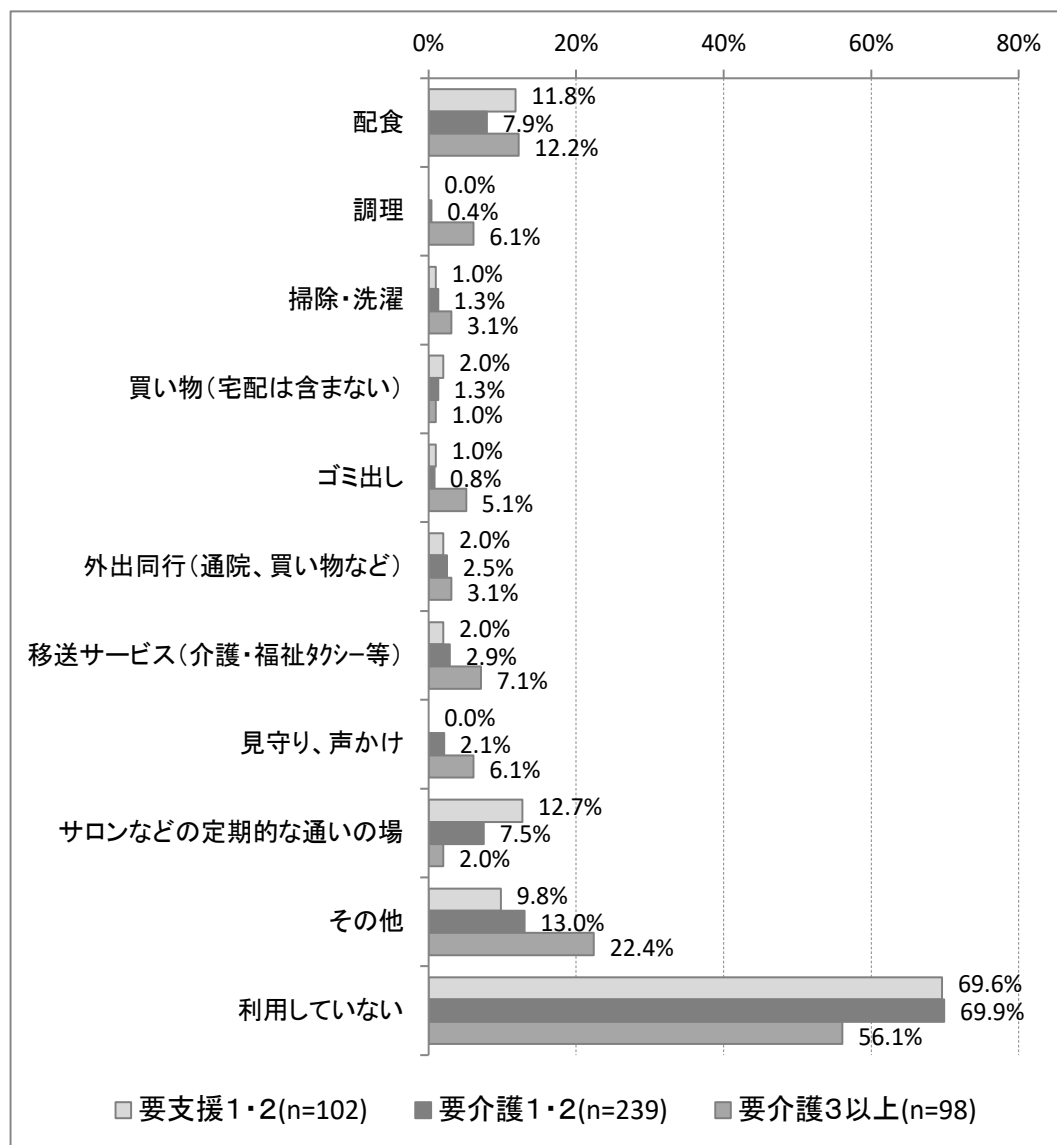
(12) 要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況

保険外の支援・サービスの利用状況について、「要支援1・2」では「利用していない」が69.6%ともっとも割合が高く、次いで「サロンなどの定期的な通いの場」が12.7%、「配食」が11.8%となっている。

「要介護1・2」では「利用していない」が69.9%ともっとも割合が高く、次いで「その他」が13.0%、「配食」が7.9%となっている。

「要介護3以上」では「利用していない」が56.1%ともっとも割合が高く、次いで「その他」が22.4%、「配食」が12.2%となっている。

図表12 要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況



(13) 要介護度別・在宅生活の継続に必要と 感じる支援・サービス

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて、「要支援1・2」では「特になし」が35.3%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が25.5%、「外出同行（通院、買い物など）」が22.5%となっている。

「要介護1・2」では「特になし」が30.7%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が29.9%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が28.2%となっている。

「要介護3以上」では「特になし」が37.8%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が36.7%、「外出同行（通院、買い物など）」が34.7%となっている。

図表13 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

